

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 島根県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	こころの医療センター	3
松江市	市立病院	4
出雲市	出雲市立総合医療センター	5
大田市	市立病院	6
安来市	安来市立病院	7
雲南市	雲南市立病院	8
奥出雲町	町立奥出雲病院	9
飯南町	飯南町立飯南病院	10
津和野町	津和野共存病院	11
邑智郡公立病院組合	公立邑智病院	12
隠岐広域連合（事業会計分）	隠岐病院	13
隠岐広域連合（事業会計分）	隠岐島前病院	14

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				島根県	
市町村・組合名					
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	53,661 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	572	73.8	79.2	74.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	40	52.5	58.0	53.4
感染症	6	-	-	-
計	618	71.7	77.1	72.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.0	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	671,126	
決算規模(千円)	520,565,669	
標準財政規模(千円)	279,440,181	
財政力指数	0.26570	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	176.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.0
修正医業収益(千円)	15,639,840

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,118,553			
1 経常収益	19,803,628			
(1) 医業収益	16,346,048			
入院収益	11,536,600			
外来収益	3,794,089			
診療収入計	15,330,689			
その他医業収益	1,015,359			
(うち他会計負担金)	706,208			
(2) 医業外収益	3,457,580			
(うち国・都道府県補助金)	702,805			
(うち他会計補助・負担金)	1,602,705			
(うち長期前受金戻入)	843,592			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	314,925			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,119,725			
2 経常費用	19,611,907			
(1) 医業費用	18,177,765			
職員給与費	9,397,855	57.5	62.1	55.8
材料費	4,222,405	25.8	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,902,293	11.6	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,225,407	13.6	11.4	13.0
減価償却費	1,308,818	8.0	9.5	8.7
経費	3,173,386	19.4	22.7	19.7
(うち委託料)	2,209,255	13.5	12.6	12.6
研究研修費	42,967			
資産減耗費	32,334			
(2) 医業外費用	1,434,142			
(うち支払利息)	264,517	1.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	507,818			
損益				
経常損益	191,721			
純損益	-1,172			
累積欠損金	21,323,108			
経常収支比率	101.0		101.9	102.5
医業収支比率	89.9		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	11.5		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	89.2		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,986,662
1 固定資産	26,479,944
(1) 有形固定資産	25,988,349
(2) 無形固定資産	7,685
(3) 投資その他の資産	483,910
2 流動資産	5,506,718
(1) 現金及び預金	2,297,558
(2) 未収金及び未収収益	3,227,362
(3) 貸倒引当金( )	113,125
(4) 貯蔵品	80,376
3 繰延資産	-
負債合計	30,217,662
1 固定負債	20,354,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,079,921
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,216,431
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,159,416
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,653,337
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	609,958
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,694,800
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,704,066
(1) 長期前受金	14,340,140
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,636,074
資本合計	1,769,000
1 資本金	26,238,294
2 剰余金	-24,469,294
(1) 資本金剰余金	872,181
(2) 利益剰余金	-25,341,475
負債・資本合計	31,986,662
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,308,913	2,308,913
資本勘定繰入	1,466,437	1,466,437
計	3,775,350	3,775,350

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	142.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				島根県	
市町村・組合名					
病 院 名					
こころの医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,131 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	3	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	224	74.3	74.0	70.6
感染症	-	-	-	-
計	224	74.3	74.0	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	671,126	
決算規模(千円)	520,565,669	
標準財政規模(千円)	279,440,181	
財政力指数	0.26570	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	176.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.7
修正医業収益(千円)	1,431,826

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,674,212			
1 経常収益	2,581,206			
(1) 医業収益	1,463,638			
入院収益	1,229,067			
外来収益	193,008			
診療収入計	1,422,075			
その他医業収益	41,563			
(うち他会計負担金)	31,812			
(2) 医業外収益	1,117,568			
(うち国・都道府県補助金)	72,978			
(うち他会計補助・負担金)	729,134			
(うち長期前受金戻入)	216,057			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	93,006			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,558,827			
2 経常費用	2,543,491			
(1) 医業費用	2,320,980			
職員給与費	1,499,341	102.4	62.1	104.8
材料費	112,434	7.7	25.3	8.7
(うち薬品費)	85,188	5.8	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,602	1.8	11.4	1.3
減価償却費	228,415	15.6	9.5	13.5
経費	476,858	32.6	22.7	33.3
(うち委託料)	341,574	23.3	12.6	18.6
研究研修費	3,389			
資産減耗費	543			
(2) 医業外費用	222,511			
(うち支払利息)	82,062	5.6	1.3	2.7
(3) 特別損失	15,336			
損益				
経常損益	37,715			
純損益	115,385			
累積欠損金	4,018,367			
経常収支比率	101.5		101.9	101.4
医業収支比率	63.1		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	29.5		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	52.0		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	28.5		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	71.6		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,986,662
1 固定資産	26,479,944
(1) 有形固定資産	25,988,349
(2) 無形固定資産	7,685
(3) 投資その他の資産	483,910
2 流動資産	5,506,718
(1) 現金及び預金	2,297,558
(2) 未収金及び未収収益	3,227,362
(3) 貸倒引当金( )	113,125
(4) 貯蔵品	80,376
3 繰延資産	-
負債合計	30,217,662
1 固定負債	20,354,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,079,921
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,216,431
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,159,416
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,653,337
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	609,958
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,694,800
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,704,066
(1) 長期前受金	14,340,140
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,636,074
資本合計	1,769,000
1 資本金	26,238,294
2 剰余金	-24,469,294
(1) 資本金剰余金	872,181
(2) 利益剰余金	-25,341,475
負債・資本合計	31,986,662
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	719,411	760,946
資本勘定繰入	150,324	285,154
計	869,735	1,046,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	142.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				島根県	
市町村・組合名	松江市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透   訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,895 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	416	64.5	74.6	75.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	66.3	70.6	65.0
感染症	4	55.3	-	0.9
計	470	64.6	73.6	73.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.1	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	203,616	
決算規模(千円)	125,163,699	
標準財政規模(千円)	55,201,772	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	76.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,025,867			
1 経常収益	11,818,188			
(1) 医業収益	9,248,507			
入院収益	6,233,408			
外来収益	2,307,817			
診療収入計	8,541,225			
その他医業収益	707,282			
(うち他会計負担金)	242,889			
(2) 医業外収益	2,569,681			
(うち国・都道府県補助金)	824,589			
(うち他会計補助・負担金)	906,959			
(うち長期前受金戻入)	713,059			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	207,679			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,399,560			
2 経常費用	11,619,478			
(1) 医業費用	10,937,360			
職員給与費	6,019,854	65.1	62.1	59.8
材料費	2,132,481	23.1	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,007,077	10.9	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,053,219	11.4	11.4	12.4
減価償却費	1,123,380	12.1	9.5	8.2
経費	1,613,632	17.4	22.7	19.2
(うち委託料)	940,644	10.2	12.6	10.2
研究研修費	33,258			
資産減耗費	14,755			
(2) 医業外費用	682,118			
(うち支払利息)	276,461	3.0	1.3	1.2
(3) 特別損失	780,082			
損益				
経常損益	198,710			
純損益	-373,693			
累積欠損金	4,254,120			
経常収支比率	101.7		101.9	103.7
医業収支比率	84.6		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	91.8		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,154,364
1 固定資産	14,314,026
(1) 有形固定資産	14,142,515
(2) 無形固定資産	7,560
(3) 投資その他の資産	163,951
2 流動資産	1,840,338
(1) 現金及び預金	61,627
(2) 未収金及び未収収益	1,725,338
(3) 貸倒引当金( )	550
(4) 貯蔵品	52,484
3 繰延資産	-
負債合計	19,508,140
1 固定負債	16,113,310
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,884,854
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,228,456
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,654,339
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,363,036
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	405,058
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	837,289
(9) 前受金及び前受収益	1,320
3 繰延収益	740,491
(1) 長期前受金	6,096,202
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,355,711
資本合計	-3,353,776
1 資本金	830,582
2 剰余金	-4,184,358
(1) 資本金剰余金	69,762
(2) 利益剰余金	-4,254,120
負債・資本合計	16,154,364
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	3,353,776
資本不足額(繰延収益控除後)( )	2,613,285
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.3
修正医業収益(千円)	9,005,618

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,142,281	1,149,848
資本勘定繰入	804,702	825,700
計	1,946,983	1,975,548

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				島根県	
市町村・組合名	出雲市				
病院名	出雲市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,035 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	147	75.2	77.7	74.8
療養	52	85.1	85.4	87.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	77.8	79.7	78.0
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	13.1	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	172,775	
決算規模(千円)	107,866,030	
標準財政規模(千円)	45,795,853	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	86.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	158.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,442,001			
1 経常収益	3,441,411			
(1) 医業収益	2,625,361			
入院収益	1,700,325			
外来収益	569,049			
診療収入計	2,269,374			
その他医業収益	355,987			
(うち他会計負担金)	97,604			
(2) 医業外収益	816,050			
(うち国・都道府県補助金)	132,822			
(うち他会計補助・負担金)	483,342			
(うち長期前受金戻入)	171,462			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	590			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,389,732			
2 経常費用	3,327,031			
(1) 医業費用	3,195,930			
職員給与費	1,890,952	72.0	62.1	67.4
材料費	327,614	12.5	25.3	17.7
(うち薬品費)	113,666	4.3	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	207,988	7.9	11.4	8.8
減価償却費	296,754	11.3	9.5	10.7
経費	672,322	25.6	22.7	29.2
(うち委託料)	292,741	11.2	12.6	13.9
研究研修費	4,664			
資産減耗費	3,624			
(2) 医業外費用	131,101			
(うち支払利息)	55,670	2.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	62,701			
損益				
経常損益	114,380			
純損益	52,269			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.4		101.9	100.3
医業収支比率	82.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	22.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	86.0		89.3	84.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,560,904
1 固定資産	4,488,207
(1) 有形固定資産	3,805,972
(2) 無形固定資産	26,477
(3) 投資その他の資産	655,758
2 流動資産	1,072,697
(1) 現金及び預金	634,683
(2) 未収金及び未収収益	419,043
(3) 貸倒引当金( )	3,655
(4) 貯蔵品	19,626
3 繰延資産	-
負債合計	4,249,854
1 固定負債	2,513,981
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,413,981
(2) その他の企業債	100,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	636,843
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	303,879
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	138,988
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	165,625
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,099,030
(1) 長期前受金	3,197,130
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,098,100
資本合計	1,311,050
1 資本金	1,013,638
2 剰余金	297,412
(1) 資本金剰余金	8,774
(2) 利益剰余金	288,638
負債・資本合計	5,560,904
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.1
修正医業収益(千円)	2,527,757

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	373,724	580,946
資本勘定繰入	179,554	179,554
計	553,278	760,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				島根県	
市町村・組合名	大田市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,219 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	180	73.5	51.1	54.4
療養	45	86.9	64.2	73.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	229	74.8	52.6	56.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	15.7	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	32,846	
決算規模(千円)	29,762,803	
標準財政規模(千円)	13,413,207	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	87.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.4
修正医業収益(千円)	3,845,200

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,229,775			
1 経常収益	4,774,617			
(1) 医業収益	4,131,233			
入院収益	2,704,150			
外来収益	1,029,792			
診療収入計	3,733,942			
その他医業収益	397,291			
(うち他会計負担金)	286,033			
(2) 医業外収益	643,384			
(うち国・都道府県補助金)	134,009			
(うち他会計補助・負担金)	458,625			
(うち長期前受金戻入)	4,059			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	455,158			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,876,449			
2 経常費用	5,015,703			
(1) 医業費用	4,782,376			
職員給与費	2,666,341	64.5	62.1	66.1
材料費	692,477	16.8	25.3	19.8
(うち薬品費)	355,182	8.6	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	287,870	7.0	11.4	9.3
減価償却費	275,201	6.7	9.5	10.2
経費	1,140,432	27.6	22.7	28.2
(うち委託料)	450,185	10.9	12.6	13.6
研究研修費	4,453			
資産減耗費	3,472			
(2) 医業外費用	233,327			
(うち支払利息)	43,742	1.1	1.3	1.6
(3) 特別損失	860,746			
損益				
経常損益	-241,086			
純損益	-646,674			
累積欠損金	3,935,571			
経常収支比率	95.2		101.9	99.9
医業収支比率	86.4		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	15.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.0		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	80.3		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,188,533
1 固定資産	14,045,663
(1) 有形固定資産	13,056,435
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	989,228
2 流動資産	1,142,870
(1) 現金及び預金	199,521
(2) 未収金及び未収収益	926,639
(3) 貸倒引当金( )	8,603
(4) 貯蔵品	25,313
3 繰延資産	-
負債合計	14,615,485
1 固定負債	12,645,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,071,895
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	573,286
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,323,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	497,327
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	41,176
(5) 引当金	191,890
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	566,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	646,877
(1) 長期前受金	972,461
(2) 長期前受金収益化累計額( )	325,584
資本合計	573,048
1 資本金	3,238,684
2 剰余金	-2,665,636
(1) 資本金剰余金	1,269,935
(2) 利益剰余金	-3,935,571
負債・資本合計	15,188,533
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	722,263	727,870
資本勘定繰入	243,074	286,217
計	965,337	1,014,087

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	95.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				島根県
市町村・組合名	安来市			
病院名	安来市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	12,374 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当	
診療科数	23	指定病院の状況	救へ輪	
許可公営企業	許可	看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	102	82.2	82.3	82.9
療養	46	89.5	91.6	92.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	84.8	85.2	85.9
平均在院日数(一般病床のみ)		23.6	22.5	22.5

設立団体の状況		
人口(人)	37,062	
決算規模(千円)	29,531,804	
標準財政規模(千円)	14,988,395	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.5
	将来負担比率(%)	118.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.2
修正医業収益(千円)	1,856,391

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,696,733			
1 経常収益	2,583,163			
(1) 医業収益	2,023,369			
入院収益	1,219,262			
外来収益	513,334			
診療収入計	1,732,596			
その他医業収益	290,773			
(うち他会計負担金)	166,978			
(2) 医業外収益	559,794			
(うち国・都道府県補助金)	96,240			
(うち他会計補助・負担金)	266,815			
(うち長期前受金戻入)	40,510			
(うち資本費繰入収益)	135,863			
(3) 特別利益	113,570			
(うち他会計繰入金)	54,344			
総費用	2,654,970			
2 経常費用	2,594,361			
(1) 医業費用	2,501,184			
職員給与費	1,522,330	75.2	62.1	67.4
材料費	253,777	12.5	25.3	17.7
(うち薬品費)	85,290	4.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	137,340	6.8	11.4	8.8
減価償却費	170,664	8.4	9.5	10.7
経費	551,020	27.2	22.7	29.2
(うち委託料)	223,716	11.1	12.6	13.9
研究研修費	2,141			
資産減耗費	1,252			
(2) 医業外費用	93,177			
(うち支払利息)	16,662	0.8	1.3	1.5
(3) 特別損失	60,609			
損益				
経常損益	-11,198			
純損益	41,763			
累積欠損金	1,297,702			
経常収支比率	99.6		101.9	100.3
医業収支比率	80.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	18.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.8		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,444,908
1 固定資産	1,819,265
(1) 有形固定資産	1,794,291
(2) 無形固定資産	1,366
(3) 投資その他の資産	23,608
2 流動資産	625,643
(1) 現金及び預金	283,769
(2) 未収金及び未収収益	315,458
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	26,181
3 繰延資産	-
負債合計	2,276,419
1 固定負債	942,635
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	672,239
(2) その他の企業債	268,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1,696
2 流動負債	876,789
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	201,777
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	102,431
(6) リース債務	678
(7) 一時借入金	420,000
(8) 未払金及び未払費用	140,905
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	456,995
(1) 長期前受金	1,119,958
(2) 長期前受金収益化累計額( )	662,963
資本合計	168,489
1 資本金	1,387,102
2 剰余金	-1,218,613
(1) 資本金剰余金	70,589
(2) 利益剰余金	-1,289,202
負債・資本合計	2,444,908
不良債務	196,369
実質資金不足額	196,369
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	384,604	488,137
資本勘定繰入	135,863	135,863
計	520,467	624,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	196,369	9.7
令和元年度	371,146	16.1
平成30年度	394,620	17.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	64.1
健全化法上の資金不足額(千円)	196,369
健全化法上の資金不足比率(%)	9.7
地財法上の資金不足額(千円)	465,069
地財法上の資金不足比率(%)	22.9

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				島根県	
市町村・組合名	雲南市				
病院名	雲南市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	25,772 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	92.5	92.3	94.7
療養	78	52.0	85.9	85.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	3.7	-	-
計	281	80.0	89.2	90.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	19.4	20.0

設立団体の状況		
人口(人)	36,007	
決算規模(千円)	34,001,563	
標準財政規模(千円)	17,245,077	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	106.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.3
修正医業収益(千円)	3,577,459

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,802,055			
1 経常収益	4,802,055			
(1) 医業収益	3,752,491			
入院収益	2,486,400			
外来収益	861,309			
診療収入計	3,347,709			
その他医業収益	404,782			
(うち他会計負担金)	175,032			
(2) 医業外収益	1,049,564			
(うち国・都道府県補助金)	604,779			
(うち他会計補助・負担金)	379,014			
(うち長期前受金戻入)	38,197			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,986,889			
2 経常費用	4,986,889			
(1) 医業費用	4,752,904			
職員給与費	2,571,810	68.5	62.1	66.1
材料費	510,103	13.6	25.3	19.8
(うち薬品費)	143,068	3.8	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	320,505	8.5	11.4	9.3
減価償却費	668,885	17.8	9.5	10.2
経費	985,688	26.3	22.7	28.2
(うち委託料)	259,201	6.9	12.6	13.6
研究研修費	11,576			
資産減耗費	4,842			
(2) 医業外費用	233,985			
(うち支払利息)	54,592	1.5	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-184,834			
純損益	-184,834			
累積欠損金	1,277,840			
経常収支比率	96.3		101.9	99.9
医業収支比率	79.0		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.8		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	11.5		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	85.2		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,582,848
1 固定資産	10,407,624
(1) 有形固定資産	9,816,651
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	590,973
2 流動資産	2,175,224
(1) 現金及び預金	1,362,876
(2) 未収金及び未収収益	800,752
(3) 貸倒引当金( )	2,814
(4) 貯蔵品	14,353
3 繰延資産	-
負債合計	11,337,806
1 固定負債	9,868,204
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,868,204
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	693,785
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	332,911
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	169,285
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	172,201
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	775,817
(1) 長期前受金	983,281
(2) 長期前受金収益化累計額( )	207,464
資本合計	1,245,042
1 資本金	2,522,882
2 剰余金	-1,277,840
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,277,840
負債・資本合計	12,582,848
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	549,032	554,046
資本勘定繰入	200,734	201,709
計	749,766	755,755

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				島根県	
市町村・組合名	奥出雲町				
病院名	町立奥出雲病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 未 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,451 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	51	82.4	69.8	74.8
療養	47	96.5	67.7	81.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	88.0	69.1	77.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	19.7	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	11,849	
決算規模(千円)	15,470,962	
標準財政規模(千円)	7,520,027	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	151.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,000,913			
1 経常収益	2,000,913			
(1) 医業収益	1,391,145			
入院収益	890,577			
外来収益	257,601			
診療収入計	1,148,178			
その他医業収益	242,967			
(うち他会計負担金)	111,371			
(2) 医業外収益	609,768			
(うち国・都道府県補助金)	191,697			
(うち他会計補助・負担金)	265,979			
(うち長期前受金戻入)	146,957			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,967,878			
2 経常費用	1,967,878			
(1) 医業費用	1,880,080			
職員給与費	1,252,522	90.0	62.1	78.9
材料費	177,370	12.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	55,898	4.0	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	97,672	7.0	11.4	6.0
減価償却費	175,310	12.6	9.5	11.7
経費	273,126	19.6	22.7	31.2
(うち委託料)	146,361	10.5	12.6	14.3
研究研修費	1,264			
資産減耗費	488			
(2) 医業外費用	87,798			
(うち支払利息)	40,761	2.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	33,035			
純損益	33,035			
累積欠損金	1,403,953			
経常収支比率	101.7		101.9	100.3
医業収支比率	74.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	27.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	18.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	82.5		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,669,699
1 固定資産	2,420,660
(1) 有形固定資産	2,420,175
(2) 無形固定資産	485
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	249,039
(1) 現金及び預金	31,764
(2) 未収金及び未収収益	201,681
(3) 貸倒引当金( )	35
(4) 貯蔵品	15,629
3 繰延資産	-
負債合計	3,264,086
1 固定負債	2,213,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,027,856
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	185,691
(7) リース債務	-
2 流動負債	444,804
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	330,840
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,888
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	52,243
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	605,735
(1) 長期前受金	1,436,170
(2) 長期前受金収益化累計額( )	830,435
資本合計	-594,387
1 資本金	802,878
2 剰余金	-1,397,265
(1) 資本金剰余金	6,661
(2) 利益剰余金	-1,403,926
負債・資本合計	2,669,699
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	594,387
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.1
修正医業収益(千円)	1,279,774

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	376,996	377,350
資本勘定繰入	171,670	171,670
計	548,666	549,020

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			島根県
市町村・組合名	飯南町		
病院名	飯南町立飯南病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,595 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	48	65.1	70.5	69.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	65.1	70.5	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	15.0	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	4,577	
決算規模(千円)	9,314,908	
標準財政規模(千円)	4,259,272	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	60.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,145,480			
1 経常収益	1,122,080			
(1) 医業収益	764,198			
入院収益	355,276			
外来収益	299,905			
診療収入計	655,181			
その他医業収益	109,017			
(うち他会計負担金)	51,826			
(2) 医業外収益	357,882			
(うち国・都道府県補助金)	108,092			
(うち他会計補助・負担金)	218,174			
(うち長期前受金戻入)	23,453			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,077,165			
2 経常費用	1,053,765			
(1) 医業費用	1,004,758			
職員給与費	524,473	68.6	62.1	89.0
材料費	98,503	12.9	25.3	14.0
(うち薬品費)	35,216	4.6	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,287	8.3	11.4	5.4
減価償却費	119,206	15.6	9.5	13.0
経費	261,592	34.2	22.7	47.1
(うち委託料)	112,593	14.7	12.6	22.5
研究研修費	983			
資産減耗費	1			
(2) 医業外費用	49,007			
(うち支払利息)	11,441	1.5	1.3	1.3
(3) 特別損失	23,400			
損益				
経常損益	68,315			
純損益	68,315			
累積欠損金	772,697			
経常収支比率	106.5		101.9	98.5
医業収支比率	76.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	24.1		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	35.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	23.6		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	80.9		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,376,692
1 固定資産	1,756,529
(1) 有形固定資産	1,756,390
(2) 無形固定資産	139
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	620,163
(1) 現金及び預金	470,211
(2) 未収金及び未収収益	144,098
(3) 貸倒引当金( )	739
(4) 貯蔵品	6,593
3 繰延資産	-
負債合計	1,260,489
1 固定負債	833,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	833,586
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	216,904
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,565
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	15,000
(5) 引当金	29,549
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	58,790
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	209,999
(1) 長期前受金	434,835
(2) 長期前受金収益化累計額( )	224,836
資本合計	1,116,203
1 資本金	1,866,420
2 剰余金	-750,217
(1) 資本金剰余金	22,480
(2) 利益剰余金	-772,697
負債・資本合計	2,376,692
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.9
修正医業収益(千円)	712,372

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	269,904	270,000
資本勘定繰入	63,742	68,200
計	333,646	338,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	101.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				島根県
市町村・組合名	津和野町			
病院名	津和野共存病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	5,447 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	8	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	49	77.8	78.3	65.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	77.8	78.3	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	15.1	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	6,875	
決算規模(千円)	10,538,851	
標準財政規模(千円)	4,683,277	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	110.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.9
修正医業収益(千円)	628,520

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	891,176			
1 経常収益	881,473			
(1) 医業収益	628,520			
入院収益	461,009			
外来収益	131,599			
診療収入計	592,608			
その他医業収益	35,912			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	252,953			
(うち国・都道府県補助金)	116,697			
(うち他会計補助・負担金)	120,126			
(うち長期前受金戻入)	651			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,703			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	881,423			
2 経常費用	881,423			
(1) 医業費用	873,981			
職員給与費	24,166	3.8	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	28,836	4.6	9.5	13.0
経費	820,979	130.6	22.7	47.1
(うち委託料)	820,876	130.6	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	7,442			
(うち支払利息)	5,907	0.9	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	50			
純損益	9,753			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	71.9		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	19.1		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	13.5		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	86.4		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	746,985
1 固定資産	439,921
(1) 有形固定資産	439,921
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	307,064
(1) 現金及び預金	218,434
(2) 未収金及び未収収益	88,630
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	367,232
1 固定負債	323,205
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	323,205
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	40,288
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	37,927
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,361
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,739
(1) 長期前受金	74,771
(2) 長期前受金収益化累計額( )	71,032
資本合計	379,753
1 資本金	-
2 剰余金	379,753
(1) 資本金剰余金	312,822
(2) 利益剰余金	66,931
負債・資本合計	746,985
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	120,126	120,126
資本勘定繰入	18,039	18,039
計	138,165	138,165

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				島根県	
市町村・組合名	邑智郡公立病院組合				
病院名	公立邑智病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,543 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	98	73.6	85.0	89.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	73.6	85.0	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	20.8	20.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.0
修正医業収益(千円)	1,407,103

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,910,978			
1 経常収益	1,873,978			
(1) 医業収益	1,507,105			
入院収益	894,494			
外来収益	382,768			
診療収入計	1,277,262			
その他医業収益	229,843			
(うち他会計負担金)	100,002			
(2) 医業外収益	366,873			
(うち国・都道府県補助金)	83,868			
(うち他会計補助・負担金)	198,707			
(うち長期前受金戻入)	69,533			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	37,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,743,983			
2 経常費用	1,706,983			
(1) 医業費用	1,655,749			
職員給与費	1,152,556	76.5	62.1	78.9
材料費	171,574	11.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	79,119	5.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,486	4.5	11.4	6.0
減価償却費	121,580	8.1	9.5	11.7
経費	190,782	12.7	22.7	31.2
(うち委託料)	106,774	7.1	12.6	14.3
研究研修費	7,908			
資産減耗費	11,349			
(2) 医業外費用	51,234			
(うち支払利息)	12,261	0.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	37,000			
損益				
経常損益	166,995			
純損益	166,995			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.8		101.9	100.3
医業収支比率	91.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	15.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	92.3		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,985,077
1 固定資産	1,442,187
(1) 有形固定資産	1,389,602
(2) 無形固定資産	9,802
(3) 投資その他の資産	42,783
2 流動資産	2,542,890
(1) 現金及び預金	2,188,561
(2) 未収金及び未収収益	329,047
(3) 貸倒引当金( )	997
(4) 貯蔵品	26,279
3 繰延資産	-
負債合計	1,533,609
1 固定負債	575,564
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	544,745
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	30,819
(7) リース債務	-
2 流動負債	465,574
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	97,493
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	79,159
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	288,902
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	492,471
(1) 長期前受金	1,222,491
(2) 長期前受金収益化累計額( )	730,020
資本合計	2,451,468
1 資本金	1,435,280
2 剰余金	1,016,188
(1) 資本金剰余金	39,757
(2) 利益剰余金	976,431
負債・資本合計	3,985,077
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	298,709	298,709
資本勘定繰入	86,767	86,767
計	385,476	385,476

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				島根県
市町村・組合名	隠岐広域連合(事業会計分)			
病院名	隠岐病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	9,479 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	16	指定病院の状況	救感へ災輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	91	64.4	76.9	84.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	22	74.2	79.4	80.5
感染症	2	-	-	-
計	115	65.1	76.0	82.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	11.9	11.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.8
修正医業収益(千円)	2,165,212

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,498,490			
1 経常収益	3,436,090			
(1) 医業収益	2,313,764			
入院収益	1,049,185			
外来収益	1,053,448			
診療収入計	2,102,633			
その他医業収益	211,131			
(うち他会計負担金)	148,552			
(2) 医業外収益	1,122,326			
(うち国・都道府県補助金)	573,123			
(うち他会計補助・負担金)	449,948			
(うち長期前受金戻入)	89,483			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	62,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,473,193			
2 経常費用	3,269,944			
(1) 医業費用	3,100,976			
職員給与費	1,766,726	76.4	62.1	67.4
材料費	546,954	23.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	316,222	13.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	204,397	8.8	11.4	8.8
減価償却費	156,646	6.8	9.5	10.7
経費	618,306	26.7	22.7	29.2
(うち委託料)	348,957	15.1	12.6	13.9
研究研修費	3,912			
資産減耗費	8,432			
(2) 医業外費用	168,968			
(うち支払利息)	15,801	0.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	203,249			
損益				
経常損益	166,146			
純損益	25,297			
累積欠損金	4,077,281			
経常収支比率	105.1		101.9	100.3
医業収支比率	74.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	17.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	25.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	17.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	86.8		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,353,940
1 固定資産	3,978,020
(1) 有形固定資産	3,658,276
(2) 無形固定資産	1,063
(3) 投資その他の資産	318,681
2 流動資産	1,375,920
(1) 現金及び預金	605,853
(2) 未収金及び未収収益	665,332
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	104,185
3 繰延資産	-
負債合計	2,541,164
1 固定負債	1,720,344
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,454,044
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	266,300
(7) リース債務	-
2 流動負債	396,372
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,948
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	213,081
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	424,448
(1) 長期前受金	424,448
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,812,776
1 資本金	5,826,944
2 剰余金	-3,014,168
(1) 資本金剰余金	1,384,625
(2) 利益剰余金	-4,398,793
負債・資本合計	5,353,940
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	539,754	598,500
資本勘定繰入	81,266	101,126
計	621,020	699,626

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				島根県
市町村・組合名	隠岐広域連合(事業会計分)			
病院名	隠岐島前病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	3,468 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	8	指定病院の状況	救 へ 輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	20	86.4	95.9	96.3
療養	24	75.5	81.7	78.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	80.4	88.1	86.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	15.5	15.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.2
修正医業収益(千円)	575,693

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	940,970			
1 経常収益	921,870			
(1) 医業収益	607,376			
入院収益	315,467			
外来収益	241,671			
診療収入計	557,138			
その他医業収益	50,238			
(うち他会計負担金)	31,683			
(2) 医業外収益	314,494			
(うち国・都道府県補助金)	83,288			
(うち他会計補助・負担金)	163,380			
(うち長期前受金戻入)	64,081			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	975,380			
2 経常費用	832,978			
(1) 医業費用	796,927			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	121,255	20.0	25.3	14.0
(うち薬品費)	68,790	11.3	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,610	6.7	11.4	5.4
減価償却費	64,564	10.6	9.5	13.0
経費	610,150	100.5	22.7	47.1
(うち委託料)	54,527	9.0	12.6	22.5
研究研修費	807			
資産減耗費	151			
(2) 医業外費用	36,051			
(うち支払利息)	6,227	1.0	1.3	1.3
(3) 特別損失	142,402			
損益				
経常損益	88,892			
純損益	-34,410			
累積欠損金	323,612			
経常収支比率	110.7		101.9	98.5
医業収支比率	76.2		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.2		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	32.1		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	20.7		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	87.3		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,353,940
1 固定資産	3,978,020
(1) 有形固定資産	3,658,276
(2) 無形固定資産	1,063
(3) 投資その他の資産	318,681
2 流動資産	1,375,920
(1) 現金及び預金	605,853
(2) 未収金及び未収収益	665,332
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	104,185
3 繰延資産	-
負債合計	2,541,164
1 固定負債	1,720,344
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,454,044
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	266,300
(7) リース債務	-
2 流動負債	396,372
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,948
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	213,081
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	424,448
(1) 長期前受金	424,448
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,812,776
1 資本金	5,826,944
2 剰余金	-3,014,168
(1) 資本剰余金	1,384,625
(2) 利益剰余金	-4,398,793
負債・資本合計	5,353,940
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	191,748	195,063
資本勘定繰入	138,849	141,632
計	330,597	336,695

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。